アクセスニュース NO 75　　おや、今回のアクセスニュースはいつもと違うぞ！

「訓練。訓練。実際に地震が起こった時のことを考えてみてください」

～赤おにの最寄りの避難所へは車イスでも行けるのか～

2012年9月5日(水)午前11時、ピロリロリン♪(って音だったかはさだかでないが…)という聞きなれない音とともにマナーモードにしていた携帯電話にメールが来ました。大阪880万人訓練として一斉送信されたこの訓練緊急地震速報のメールを見た方は350万人いらっしゃるようですが、私たちもその一人です。

「訓練。訓練。大阪府で大阪880万人訓練を開始します。実際に地震が起こったときのことを考えてみてください。(中略)実際の災害時には、身の安全を確保し、適切な情報に基づき近隣の指定避難所に避難して下さい。」

このメールを無視することなく、赤おににいる時に、地震が起こったときのことを少し考えてみることにしました。

まずは、近い将来に起こるとされている南海トラフ巨大地震について、ビデオプロジェクターとパソコンを使ってミニ学習会をしました。

★南海トラフ巨大地震が起こった時の全国の被害想定は？

東海、東南海、南海地震などが同時発生するマグニチュード（M）９級の「南海トラフ巨大地震」について、国の二つの有識者会議は２９日、被害想定などを公表した。死者数は最大で３２万３０００人。そのうち津波による死者は全体の７割の２３万人に達する。有識者会議では、迅速な避難により津波の死者は８割減らせるとして、国や自治体に対し避難施設や避難路の確保を図るよう求めている。（8月29日読売新聞より）

★津波は東住吉区にも来るの？

内閣府の発表によると
震度６弱以上で堤防がすべて破壊（堤防なし）の場合、大阪市では北・都島・福島・此花・中央・西・港・大正・浪速・西淀川・淀川・城東・住之江・西成（14区）が浸水されることが予測されています。

これによると東住吉区は入っていませんが、大和川を逆流することもありうるし、もしもの危機感は持っておきたいと思います。

★地震が起こった時の対応は？

以下は防災マップ東住吉より

地震だ３秒～
●おちついて、●身をかくせ　●火に近づくな
3分　揺れが収まった～
●ラジオ、テレビをつける　●火の元を確認　●家族は大丈夫か　●くつ、スリッパを履く
●余震に注意、●津波から避難
3時間　みんな無事か！
●ブロック塀やガレキに近づくな　●車で逃げるな　●公衆電話を使う　●町会への安否報告
3日　復旧に向けて
●水、食糧は備蓄でまかなえ　●正しい情報を手に入れよう　●家を離れる時は表示をしよう
●壊れた家には入るな

ここには書かれていませんが、身を守った上で、「●近くにいる要救護者を助けろ」　を入れてもいいのではと思うのですが…。

赤おにの場合、車いすのメンバーが多く、地震が起きた直後は、自分で机の下に隠れたりはできないです。赤おにの建物は2007年に新築された平屋建てなので、おそらく倒れないだろうし、内装もそなえつけの棚がほとんどで、何かが倒れてくるということはあまりないと思われますが、それを越える地震が来ることも考えられます。改めて他に物が飛んできたり、倒れたりするものはないかチェックが必要かもしれません。

★私たちの赤おには大阪市東住吉区田辺5丁目にあるけど、最寄りの避難所はどこになるの？

避難所には、
○一時避難所～一時的に避難できる公園などを指定しています。
○収容避難所～建物内に避難できる学校などを指定しています。
○広域避難所～地震で大火になった時など、大規模な避難に適する場所として公園などを指定しています。

があります。

「防災マップ東住吉区」を見てみました。

一時避難所は46か所（そのほどんとは小さな公園）、収容避難所は28箇所（小、中学校21か所とその他6か所）、広域避難所（長居公園と百済貨物駅の2か所）がありますが、

赤おにの最寄となると一時避難所は「駒川公園」、収容避難所は「田辺小学校」、広域避難所は「長居公園」になります。

実際には、震災が起こったら、親元から通っているメンバーは親元に帰ることになると思われますが、赤おにには一人暮らしされているメンバーも多くいます。

東日本大震災の時に、地震後、一度避難所に行ったけど、障害者には不便で、結局戻ってきたという話も聞きました。

赤おにの場合はどうなるでしょう。実際には、とりあえず、誰かスタッフが道中や避難所の様子を偵察してから、皆で向かうか判断すると思いますが、火事がひろがっていてそんな猶予がないということもありえますし、ここではとりあえず、車椅子で避難所に向かってみることにします。

ですが、地震後、狭い道や古い家が密集しているところでは、塀が倒れたり、家が倒れたりと道をガレキが塞いでいる可能性があります。車いすではガレキを越えれないし、道路にあるガラス片などでタイヤはすぐにパンクすることが予想されますが、赤おにから各避難所に行く道はどうでしょうか？

調査日：2012年9月10日

■赤おに→駒川公園の道中

赤おにの前の道幅は広くないね。ガレキが道を塞ぐ可能性は十分あるね。この近鉄の高架が倒れることはきっとないよね

駒川公園（赤おにから徒歩5分の　一時避難所）

※一時避難可能人数3,550人

とりあえず、ここに逃げれば建物が倒れてきたり、物が降ってきたりすることはないね。大火が迫ってきた時はどうだろう、人が溢れていたら厳しいのかな。ここはトイレもないし、やはり。一時的な避難場所だね。

■赤おに→田辺小学校の道中

赤おに前の道は狭いね。ここはまだましかな、古い建物も少ないし。阪神高速の高架。阪神大震災の時は倒れたけど、今は耐震補強をしてるはず…。

田辺小学校（赤おにから徒歩10分位の　収容避難所）

※一時避難可能人数1000人、収容避難可能人数1290人

田辺小学校にはエレベーターも車いすトイレもあるね。とりあえず、体育館かグランドに避難になるのかな。

早川福祉会館（赤おにから徒歩20分位の バリアフリー設備の整った収容 避難所）

※収容可能人数200人

早川福祉会館は、私たちも大人数の会議の時などで使う鉄筋4階建ての建物で、会議室、和室、ホール、点字図書室、対面朗読室、障害者の働く喫茶コーナー等のある会館です。多少の地震では崩壊することはないだろうと思われます。1995年の阪神大震災の時には、神戸から被災障害者がここに避難され、私たちも

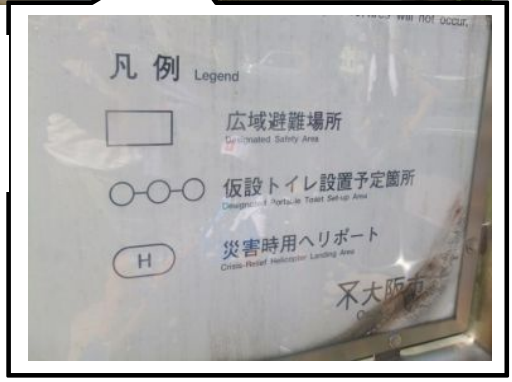
お手伝いをしたことがあります。
今回、私たちはアポなしで館長さんに、災害時のことについて聞いてみました。ここでは、水や毛布、お米なども備蓄されており、課題もあるようですが、地域の方にという思いを持っておられるようで、アポなしにも関わらず、丁寧に対応して下さいました。バリアフリーの建物とはいえ、地震でエレベーターが止まっていては１階部分しか使えないということはあると思うので、田辺小に避難するかここに避難するか…。**電気が復旧すればエレベーターは使えますが、しょっちゅう余震のある中でエレベーターは使える**のかなあ？。

■赤おに→長居公園の道中

長居公園東通りという道まで出れば、片側２車線の４車線と道幅は広いね。きっと緊急車両が通るでしょうね。広域避難所長居公園と書かれた案内板が田辺小の近くにあったよ。長居公園までの地図や周辺の避難所も書かれているよ。

長居公園（赤おにから徒歩３０分位の　広域避難所）

入口に広域避難所長居公園と書かれた案内図があったよ。→仮設トイレ設置予定箇所と災害時用ヘリポートの印があったよ。



←公園内の道は幅が広いね

もちろん、車いす用トイレもあるよ

↑ここが一番広いかな。これだけの広さがあれば火事が迫っていても大丈夫だね。ここは緊急用ヘリポートにもなるみたいだよ。

★長居公園内には以下の収容避難所もあります。

長居スタジアム

※一時避難可能人数20,200人
収容避難可能人数1250人

キンチョウスタジアム

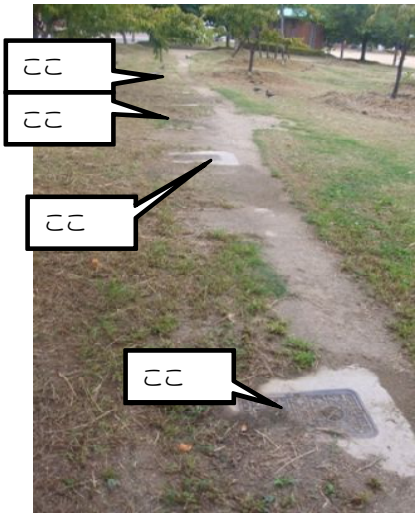
※一時避難可能人数13,650人
収容避難可能人数1250人

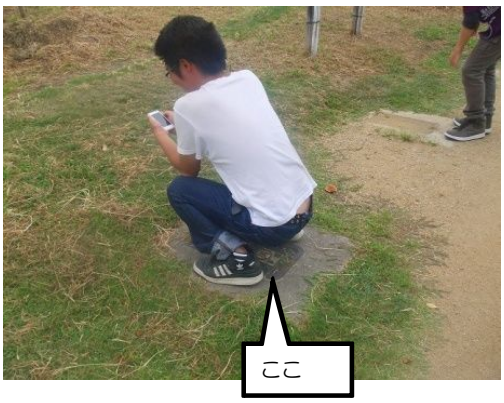
長居第２陸上競技場

※一時避難可能人数24,000人
収容避難可能人数350人

「災害救援ベンダー」「この自動販売機は災害停電時においても飲料供給ができます」って書いてる自動販売機があったよ。これなら避難物資が届くまでの間、助かるね。

ところで皆さん、マンホールトイレって知ってますか?。
下水マンホールの上に設置し、汚物を直接下水に流すよう施されたトイレのことです。被災地ではトイレに便があふれ、カチカチになっていたりしたそうで、トイレの存在も重要なようです。
長居公園内の被災時にマンホールトイレになる場所を探しましたが、見つけるのに少し苦労しました。
それはこれだ！↓





「全壊する建物は約３４万４千棟に上る。このうち２６万棟が火災によるもので、火災の被害は全国最多になった（8月29日産経ニュース)」とあるように、もし南海トラフ巨大地震が起こった時、大阪では火災で亡くなる人が多数になることが予測されています。関東大震災では火災、阪神大震災では倒壊、東日本大震災では津波によって亡くなられた方の割合が多かったようです。それぞれの地域によって、どういう被害が予想されているかを知ることも必要なようです。赤おにでも火災時の避難訓練をしたり、緊急時のマニュアルは整備されていますが、今後は地震についてさらにつっこんだマニュアルを整備する必要があるかもしれません。地震は容赦してくれません。自分たちの身を守るために、一人一人が防災の意識を持ち、準備しておきたいものですね。（ｂｙみっちー）